

データで見る四半世紀

		2022年	2017年	2012年	2007年	2002年	1997年
		令和4年	平成29年	平成24年	平成19年	平成14年	平成9年
人口		227,957人	235,959人	242,766人	243,844人	251,682人	259,281人
人口密度	1km ² 当たり	9,229人	9,553人	9,817人	9,860人	10,177人	10,517人
世帯人数	1世帯平均	2.0人	2.2人	2.3人	2.3人	2.49人	2.64人
出生	1日に	3.8人	4.5人	5.6人	5.3人	6.6人	7.6人
死亡者	1日に	8.1人	6.5人	5.8人	5.1人	4.5人	3.9人
転入	1日に	20.6人	19.9人	22.9人	25.0人	30.8人	35.3人
転出	1日に	20.7人	22.6人	22.5人	26.7人	35.6人	41.4人
結婚	1日に	2.4組	2.7組	3.4組	3.7組	4.0組	4.8組
離婚	1日に	1.1組	1.3組	1.4組	1.6組	2.0組	1.6組
高齢化率	(%)	30.04	28.71	23.74	19.40	14.15	10.36
市職員	1人当たりの市民数	185人	208人	191人	146人	120人	108人
先生	1人当たりの児童数	14.7人	16.9人	18.0人	20.0人	21.4人	21.3人
刑法犯罪	1日の認知件数	1.1人	6.1件	10.4件	13.1件	16.7件	12.6件
交通事故	1日に	2.2人	2.6件	3.4件	4.2件	4.4件	3.5件
火災	1日に	0.2件	0.2件	0.3件	0.4件	0.4件	0.4件
救急出動	1日に	49.1件	38.7件	33.6件	30.1件	26件	21.1件
商店	1店当たりの世帯数	110.6世帯	111.0世帯	65.6世帯	56世帯	43.2世帯	37.9世帯
製造業	1日当たりの出荷額	5億円	5億円	5億円	6億円	7億円	9億円
ガス(m ³)	1日当たりの使用量	—	150千	163千	165千	158千	168千
水道(m ³)	1日当たりの使用量	63千	65千	69千	73千	77千	83千
ゴミ	1日当たりの排出量	176トン	186トン	263トン	289トン	307トン	337トン
図書館	1日の貸出冊数	2,648冊	3,202冊	3,127冊	2,931冊	2,407冊	2,093冊
市税	1人当たり	125,723円	121,759円	115,200円	112,941円	120,608円	126,863円

少子化に関する数字として「出生数」「結婚数」は、25年前と比較すると半数になっています。高齢者の割合は、約3倍に迫る数字となっています。

このような社会の変化は、生活の中で感覚的に受け止めていると思いますが、数字を示すことで肌感覚だったものが確信に変わります。

今回、25年間の推移を示しました。四半世紀という年月をかけてジワジワ変化したものです。政策誘導によって目指すべき数値に向かうよう取り組んでいるものもあれば、個人や民間の意思に委ね政策誘導には限界があるものもあります。

近年では、これまで行政で持っている膨大なデータを活用したり、新たなデータを取得することで政策立案や事業の根拠に用いようとするなど、行政内の意識変化がでてきました。それは、データ取得に関連するデジタル技術の進歩や、AIなどによる情報分析の進展、生産労働人口の減少傾向による将来の課題などが相まって、積極的にデータ活用をしていこうとする社会全体の課題認識が原動力となっています。

例えば、世帯人数の1世帯当り2.0人と表には記していますが、それは平均値です。令和2年度の国勢調査結果を確認すると、全世帯約10万世帯のうち約33%は単身世帯で、その内の約44%が65歳以上の高齢単身者となっています。

このように、他のデータを組み合わせることで実態がより把握でき、課題が見えてきます。さらに新たな種類のデータを収集・蓄積することで、課題に対するサービスの質の向上が期待できると同時に、新たなサービスの創造につながると考えています。

学校区毎の人口推移（10年前との比較）

校区		2022年				2012年	
中学校	小学校	総数	0～14歳	65歳以上	高齢化率	総数	高齢化率
第一	東	11,668	1,568	3,313	28.4	11,875	24.3
	中央	12,039	1,577	3,104	25.8	12,638	21.9
第二	池田	11,785	1,192	3,591	30.5	12,542	25.6
	桜	9,001	876	2,668	29.6	10,049	23.1
第三	北	14,638	1,476	4,083	27.9	15,058	20.6
	田井	9,343	973	2,640	28.3	10,269	20.9
第四	明和	7,526	946	2,075	27.6	7,337	23.6
	梅が丘	5,881	728	2,003	34.1	5,727	24.4
第五	神田	9,080	887	2,496	27.5	9,531	22.6
	和光	11,124	1,579	2,853	23.2	11,846	20.7
第六	第五	20,085	2,664	5,700	28.4	20,439	23.4
	国松緑丘	8,494	946	2,826	33.3	9,279	23.8
第七	南	9,709	998	3,120	32.1	10,276	27.2
	堀溝	6,770	945	1,834	27.1	6,577	22.3
第八	西	7,292	653	2,350	32.2	8,352	23.8
	点野	9,671	1,002	3,225	33.4	10,708	25.8
第九	成美	8,810	854	2,876	32.6	9,855	29.7
	啓明	8,883	818	3,043	34.3	10,126	25.9
第十	三井	8,649	692	3,682	42.6	10,226	33.2
	宇谷	7,310	761	2,347	32.1	8,010	19.6
友呂岐	木屋	10,352	1,278	2,847	27.5	10,544	19.7
	石津	5,924	659	1,707	28.8	6,294	22.0
中木田	木田	9,192	890	2,749	29.9	10,119	24.2
	楠根	4,731	482	1,359	28.7	5,089	20.5

各学校区によって、人口の推移に違いが見られます。

小学校区で人口が増加したのは明和、梅が丘、堀溝の各小学校区です。

高齢化のスピードでは、この10年間で12.5%高くなった宇谷をはじめ、梅が丘（9.7%）、国松緑丘（9.5%）、三井（9.4%）などは急激な変化となっています。

この5年間で、5%以上高齢化の進んだ町丁は、仁和寺本町6丁目、点野6丁目、池田北町、葛原1丁目、葛原新町、宝町、高柳5丁目、東神田町、成田東が丘、三井が丘2・3・4丁目、川勝町、太秦桜が丘、太秦元町、寝屋新町、梅が丘1丁目、打上宮前町、打上南町。

その結果、三井では42.6%と突出した高齢社会になっています。

より細かい単位である町丁で見ると、40%以上の高齢化率の町丁は、仁和寺本町6丁目、点野6丁目、葛原2丁目、宝町、石津中町、池田東町、川勝町、八幡台、三井が丘1～5丁目、太秦桜が丘、寝屋新町、大谷、明和1丁目、打上南町、打上宮前町です。

このような違いをしっかりと理解し、より適切なサービスへの転換が必要だと考えております。